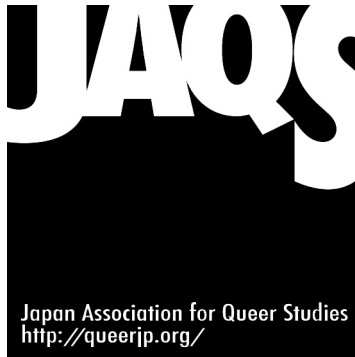


論叢クィア

Vol.1

Journal of Queer Studies Japan

2008



クィア学会

Japan Association for Queer Studies

発刊の辞（編集委員会） 7

開会の辞（クィア学会呼びかけ人一同） 9

シンポジウム報告：日本におけるクィア・スタディーズの可能性 19

論文

“homosexual”の導入とその変容

——森鷗外『青年』 ◎ 黒岩裕市 57

「懸命にゲイになるべき」か？——雑誌『Badi』にみるセクシュアリティと

ライフスタイルの関係性 ◎ 森山至貴 76

女性と性交渉を持つ

女性の産婦人科受診の経験 ◎ 藤井ひろみ 99

研究ノート

学習者の「自己」とことばの学び

——国語教師としてジュディス・バトラーを読む ◎ 永田麻詠 120

「クィア・ディアスポラ」という方法 ◎ 松村美穂 135

その他

「パフスペース」の歩み ◎ 沢部ひとみ 148

女性性的少数者運動体発行物、所蔵資料のデジタル化・

収集資料データベース化プロジェクト ◎ 小澤かおる 162

書評

堀江有里 著『「レズビアン」という生き方——キリスト教の異性愛主義を問う』

1-1 三部倫子 175

1-2 原美奈子 184

飯野由里子 著『レズビアンである〈わたしたち〉のストーリー』

2-1 高橋慎一 190

2-2 千田有紀 200

クレア・マリィ 著

『発話者の言語ストラテジーとしてのネゴシエーション行為の研究』

3-1 金城克哉 208

3-2 佐藤響子 221

Jim Reichert 著

In the Company of Men: Representations of Male-Male Sexuality in Meiji Literature

4-1 ローラン・エリック 231

4-2 ジェームズ・ウエルカー 236

黒澤亜里子 編著『往復書簡 宮本百合子と湯浅芳子』

5-1 黄綿史 244

5-2 出雲まろう 251

矢島正見 編『戦後日本女装・同性愛研究』

6-1 竹内瑞穂 258

6-2 菅沼勝彦 267

投稿規程・執筆要項等 275

クィア学会入会案内 282

クィア学会趣意文・規約 284

執筆者紹介 292

編集後記 294

クィア学会からのお知らせ 295

クィア学会活動報告 296